

曲目解説

- 「ハンス・クリスチャン・アンデルセン組曲」より I・IV・V・VI
From Hans Christian Andersen Suite ソーン・ヒュルゴー
(Adventures for Wind Orchestra) Søren Hyldgaard

S. ヒュルゴー (b. 1963 ; デンマーク) は、34才という若い作曲家である。デンマークの誇る「H. C. アンデルセン」(詩人 ; 童話で有名) を題材にして、1997年に作曲された作品で、海外で10月に出版されたばかり。全6楽章(約25分)の大作で、今回は4つの楽章を演奏する。

第1楽章「導入部:偉大なる詩人」は、輝かしくファンファーレ風に始まり、後半部のメロディは緩やかで美しい。第4楽章「コンスタンチノーブル ; 詩人の市場」は軽快な曲。第5楽章「夢のワルツ」は、風変わりな旋律を持っている。第6楽章「ティンダー・ボックス」は最初は軽快な行進曲だが、複数の場面展開を持つ。華やかに終わる。

- ドラゴンの年 フィリップ・スパーク
The Year of the Dragon Philip Sparke

P. スパーク (b. 1951 ; イギリス) は、吹奏楽界では有名な作曲家で、数多くの作品を手がけている。その代表作とも言えるのがこの曲で、イギリス・ウエールズ地方にある金管バンドの委嘱により、1984年に原曲が完成した。吹奏楽版は作曲者自身の手により1985年に完成し、出版されるや、またたく間に世界中に広まった。題名はウエールズの国の紋章である「レッド・ドラゴン」(赤い龍)を意味している。

全3楽章から成る組曲で、第1楽章「トッカータ」は鋭いリズムで始まる躍動的な曲。第2楽章「間奏曲」は緩やかで美しい旋律が印象的である。第3楽章は「フィナーレ」は、躍動的な曲で、いくつかのソロを聴きながら、圧倒的なクライマックスへと突き進んでいく。

- いたずらなポルターガイスト クリストファー・サレルノ
The Puckish Poltergeist Christopher Salerno

C. サレルノ (b. 1968 ; アメリカ) は若い作曲者で、管楽器・打楽器・弦楽器・声楽のソロやアンサンブルなど、多岐にわたる作品がある。

この作品は1993年に出版された新しいもので、随分と風変わりなタイトルが付けられている。ポスターガイストの悪ふざけを題材にした作品で、空中を飛ぶ家具や台所道具から逃げ惑う城の住人達のうろたえぶりが表現されており、恐怖に満ちた場面とドタバタした喜劇の場面が対照的である。その光景を想像しながら聴いて欲しい。

- アイルランド～伝説の国 ロバート・W・スミス
Ireland; of Legend and Lore Robert W. Smith

R. W. スミス(アメリカ) は、近年注目されている作曲家で、次々と興味深い作品を発表している。この作品はイースト・テネシー州立大学ウインド・アンサンブルの、アイルランド演奏旅行のために委嘱されたもので、1996年に作曲された。アイルランドが舞台である。

壮大な第1主題が曲の初めと終わりにあり、途中で3つの展開がある。その3つとは、(1)11世紀のアイルランド王、ブライアン・ボルマーの行進曲、(2)女海賊、グレース・オマリーの伝説、(3)城の戦いを描写したものである。伝説に思いを馳せて聴いてみよう。

●第5組曲 アルフレッド・リード
Fifth Suite for Band (International Dances) Alfred Reed

A. リード(b. 1921 ; アメリカ)は、吹奏楽界で最も有名な作曲家の1人で、75才を越えた現在においても、精力的に活動が続けている。日本にも馴染みが深いため、日本のバンドによる委嘱作品も数多く存在する。この「第5組曲」もそんな曲で、山口県下関市にある「下関ウインドアンサンブル」の委嘱により、1995年に作曲した作品である。

「International Dances」の副題からも判るが、世界各国の舞曲がテーマである。全4楽章から成る組曲で、第1楽章「ホー・ダウン」は、アメリカのカウボーイの踊り、第2楽章「サラバンド」はフランスの舞曲、第3楽章「山伏神楽」は日本の神楽、第4楽章「ホラ」はルーマニア、イスラエルの舞曲がテーマである。各楽章の対比が面白い。

●アフリカ ロバート・W・スミス
Africa; Ceremony, Song and Ritual Robert W. Smith

R. W. スミス(アメリカ)による1994年の作品。西アフリカの原始的民族音楽に基づいており、導入部とそれに続く3つの展開によって構成されている。最初の「太古の火」は、人間が火を生み出し、それに棒や葉を集めて炎が高く成長し、やがて炎は突然消え始めて大地が暗闇に戻る様子。2番目の「古代民謡」は、ガーナが起源のメロディが使用されている。最後の「シャンゴ」は雷神の名前。この神の再来を待つ人々は祈りの賛美を歌う。ドラムは夜通し音を立てて、人々の踊りの輪は熱狂状態になる。そして曲は結末に向かって突き進む。

●マドウロダム ヨハン・デ・メイ
Madurodam (Miniature Suite) Johan de Meij

J. デメイ(b. 1951; オランダ)は日本でも人気の高い作曲家である。題名の「マドウロダム」は、オランダのハーグ市郊外にある観光地で、同国の主要建造物のミニチュア(1/25)で作られた小さな街の名前。この街の印象を全8楽章にまとめた小組曲で、1997年に作曲された。

第1楽章「起床ラツパ」 第5楽章「間奏曲／夜想曲」
第2楽章「おもちゃの兵隊」 第6楽章「ウエステルケルク教会」
第3楽章「議事堂」 第7楽章「ムイデルソルト城」
第4楽章「小さな風車」 第8楽章「グラント・フィナーレ」

●メキシカン・ピクチュアズ フランコ・チェザリーニ
Mexican Pictures (Suite in four Movements) Franco Cesarini

F. チェザリーニ(b. 1961 ; スイス)は、近年注目されている若手の作曲家で、日本でも高い人気を得ている。この曲はメキシコの民族音楽に基づいて作曲されたもので、全4楽章から成る組曲である。

第1楽章「El Butaquito」は民謡に基づいた曲。第2楽章「Romance Mejicano」はロマンティックな曲。第3楽章「Ballaviejo」には「古い踊り」の意味があり、軽快な曲である。第4楽章「La Charreade」はメキシコのロデオを表現しており、陽気な曲である。全曲を通して、思わず踊りたくなる旋律が沢山現れるので、踊りすぎに注意しよう。